

極地の暑さ記録

7月の平均気温が10°Cを超える



寒帯気候とは、1年で最も暖かい月の平均気温が10°C未満の北極圏を指す気象用語である。このような地域には氷河や永久凍土がある。ノルウェーの北極諸島であるスヴァールバルは、観測開始以来、寒帯気候に属してきた。気象研究所によれば、ただしそれは今年の7月までのことである。「今回初めて、北極圏の観測所で寒帯気候を超える気温が観測された」と気候科学者のヘルガ・ティリー・タジェは言う。

記事参照：Polar heat record. July average above 10°C - ArcticToday (2023.8.2/ARCTIC TODAY)



マコウスキー、サリバン両上院議員、アリューシャン沖の中国・ロシア船に関する声明を発表

今週末、リサ・マコウスキー上院議員とダン・サリバン上院議員は、先週アラスカのアリューシャン列島沖で中国とロシアの軍艦11隻が操業していた件について声明を発表した。共和党の上院議員は懸念を表明し、軍当局からこの件について説明を受けたと述べた。マコウスキー上院議員は、今回のような侵入は、アラスカにおける米軍の軍事力と性能を拡大するための資金と資源を確保する必要性を示していると付け加えた。サリバン上院議員は、侵入は、「北京とモスクワの独裁者が主導する権威主義的な攻撃性」によって特徴づけられる、安全保障の状況の変化を思い起こさせるものだと述べた。

記事参照：U.S. Senators Murkowski and Sullivan release Statements on Chinese and Russian Vessels off the Coast of Aleutians - ArcticToday (2023.8.7/ARCTIC TODAY)

←Kayakers make ready for Adventfjorden near Longyearbyen at Svalbard. July was exceptionally warm at 78°N. Photo: Thomas Nilsen

北大西洋における前例のない 気温



EUのコペルニクス気候変動サービス（C3S）による最近の研究によると、北大西洋の海水温は未知の領域に突入し、7月は記録的な高温になったと主張している。C3Sによると、7月の北大西洋は平年より1.05°C高く、北西大西洋で異常高温となり、グリーンランドの南とラブラドル海で海洋熱波が発生した。

記事参照：Unprecedented Temperatures in the North Atlantic Ocean - ArcticToday (2023.8.16/ARCTIC TODAY)

深まる北極圏の積雪が太古の 温室効果ガス排出を促進



人為的な気候変動が北極圏の積雪量を変化させている。アラスカ北極圏で実施された最長規模の積雪操作実験を用いた新たな研究では、雪が深くなることで永久凍土が融解し、古代の炭素が現代の大気中に放出されていることが報告された。このように年間を通じて炭素放出が増幅されることで、大気中のCO2濃度が徐々に上昇し、地球温暖化が加速し、北極圏やそれ以外の地域の天候や気候が変化する可能性がある。

記事参照：Deepening Arctic snowpack driving ancient greenhouse gas emissions - ArcticToday (2023.8.23/ARCTIC TODAY)

北極海に巨大なロシア国旗を 公開。「支配と反抗の印」と 地政学教授は説明

ロシア北極・南極研究所の科学者グループが、漂流極地ステーション「Severny polyus-41」付近の海氷上に、1400平方メートルの白青赤のロシア国旗を掲げた。研究所のウェブサイトに掲載された声明によれば、この公開はAll Elementsと呼ばれるプロジェクトの一環で、8月22日のロシア国旗の日を祝うために行われたもの。北極圏におけるロシアの存在と優位性を主張する一連の象徴的な演出であると専門家は見ている。

記事参照：Gigantic Russian flag unveiled in the Arctic Ocean. “It’s a sign of dominance and defiance”, geopolitics professor explains. - ArcticToday (2023.8.24/ARCTIC TODAY)

中国の砕氷船「Xuelong-2 号」北極点を目指して航行中



中国極地研究所の北極研究者は、ロシアとタイの研究者と協力し、北極点を目指して15,500海里を航行中である。これは中国にとって13回目の北極科学調査であり、完全中国建造の新型砕氷船「Xuelong-2」による4回目の北極海航海である。7月12日、同船は上海を出港。8月17日には北緯84度の海氷を突破した。

記事参照：China's icebreaker Xuelong-2 is sailing to the North Pole - ArcticToday (2023.8.17/ARCTIC TODAY)

中国のコンテナ船が北極圏を通過、さらに石油タンカーと大型ばら積み貨物船も航行中

ロシアの北極圏における輸送は、新たな水準の更新を続けている。先週、北極海航路では、2018年に歴史的な航海を行ったVenta Maerskと同規模のコンテナ船が入港した。さらに、北極圏を通過する過去最大の船舶である巨大なケーブサイズのばら積み貨物船がロシアから中国に向かう途中であり、さらに2隻のアフラマックス型石油タンカーが航行中である。一方、中国のコンテナ船は逆方向に向かっている。天津を8月4日に出港したXin Xin Tian 1 (IMO: 9320025) は、2700個の標準コンテナまたは20フィート相当ユニット

(TEU) を積載することができ、9月5日にセントペテルブルクに到着する予定である。
 記事参照: Chinese Container Ship Transits Arctic, More Oil Tankers and Massive Bulk Carrier Also En Route - ArcticToday (2023.8.22/ARCTIC TODAY)



Venta Maersk on the Northern Sea Route in August 2018. (Source: Maersk)

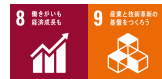
カナダ北西準州、山火事で非常事態宣言



ノースウエスト準州は火曜日、山火事による緊急事態宣言を発令した。この宣言は、緊急事態に対応するための追加権限を当局に与えるもので、今年に入ってからこれまでに山火事がもたらした比類ない被害を際立たせている。

記事参照: Video: Canada's Northwest Territories declares emergency due to wildfires - ArcticToday (2023.8.16/ARCTIC TODAY)

石油・ガス会社がアラスカに与える経済効果は極めて大きい、との業界調査結果



水曜日にアンカレジで開催された業界会議で発表された調査結果によると、石油産業はアラスカの他のどの産業よりも大きな経済的効果を持っている。アラスカ石油ガス協会の委託を受けたMcKinley Research Groupの調査によると、石油・ガスの雇用、支出、税収、波及効果は、2022年には州の雇用の16%を支えている。

記事参照: Oil and gas companies have outsized economic impact on Alaska, says industry study - ArcticToday (2023.8.31/ARCTIC TODAY)

